



長野



I O N

会員数	334-E 地区	2,686 名 (5月末現在)
	長野 LC	121 名 (6月末現在) (家族会員 52 名含む)

No.608

発行日 2018.7.1 334-E 地区
長野ライオンズクラブ
広報委員会発行

スローガン **寛容と変革、そして新たな一步を** 長野ライオンズクラブ
会長 L. 佐藤 一夫

会長就任挨拶

会長 L. 佐藤 一夫

長野ライオンズクラブは、発足以来ライオンズクラブの目的である奉仕活動の柱として、青少年健全育成を中心とし数々の奉仕活動を行なって参りました。

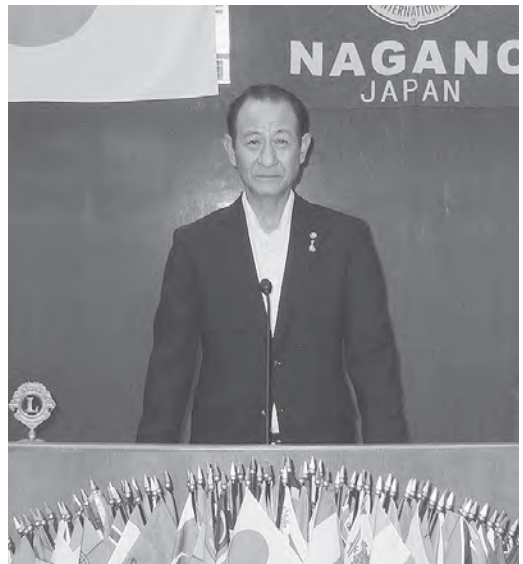
また、近年ではライオンズクエスト地区フォーラムの開催・子供の貧困問題についての踏み出し・フードバンクと、変わりつつ様々な変化に対応してこられました。諸先輩の築いてきました歴史は多大であり地域社会に貢献し名声を高めて参りました。

本年は、武家政治が終わり近代社会に移った変革の年でもあり明治維新150年の節目の年でもあります。

長野ライオンズクラブでは、会員の減少、3年後には60周年の節目の年を迎えるに当たり、準備委員会の立ち上げも必要ではないかと思慮する時であろうと思います。例会では、一人でも多くの会員出席を願い、会員相互のコミュニケーションの活性化を図り、楽しい例会作り・委員会活動では、全員参加で取り組んで頂きたいと思います。

アクティビティでは、相手の喜びを第一とし、それによって自らの喜びとし、目には良いものを見て、良いものを食べ、耳は良い事を聞き。健康に注意をして活動して頂きたいと思います。

浅学非才無学で、生意気な私ですが全力で励んでまいります。又、八役の皆様は優秀な方が揃ってお出でですので、お力添いを頂き精進してまいります。クラブ会員の皆様と全員で一致団結をして一步が進む事が出来ればと思います。未熟者ですがご理解を頂きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



2018～2019会長方針

1. 会員相互の連携をとり会員増強をはかるクラブの基盤強化
2. 例会の出席を促し、楽しい例会作りで、多くの出席を図る
3. 委員会活動で、それぞれの役割を果たし、存在感を増やそう。
4. 会員スピーチの積極的な参加
5. 長野 LC 60 周年に向かい、準備委員会の立ち上げ
6. 人材の育成・研修

2018年7月～2019年6月



第一副会長

L. 徳嵩 ことい

この度、第一副会長という大役を仰せつかり、責務の重大さに戸惑いと不安を感じ、改めて身の引き締まる思いでいっぱいです。

会長L. 佐藤のスローガンであります「寛容と改革、そして新たな一歩を」を念頭におき活動してまいりたいと思います。幸いにして運営委員会には、ライオンと呼ばれるに相応しい方々が揃っており大変心強く、活発な委員会活動をしていただけるものと確信しております。

昨今の経済・社会情勢等の変化と共にクラブ事情も変わってきており、運営委員会の各委員会の活動が益々重要となっています。会員の減少・出席率の低下等、委員会が中心となり知恵や工夫をし、全員の共通認識として取り組むことが重要であります。楽しく活発な委員会活動は必ずクラブ活性化に繋がるものと信じ、会員の皆様とのパイプ役として努めたいと思います。

皆様方のご指導・ご協力を心からお願い申し上げます。



第二副会長

L. 麻場 貴子

今年度、第二副会長を務めさせていただきます。佐藤会長のスローガン・基本方針の通り、今年度の役員の皆様と、会員の皆様のご協力をいただきながら、務めさせていただきますと思っています。

なにぶんにも、わからないことばかりですが、会員の皆様と楽しく過ごせる年になりますよう務めて参ります。1年間どうぞ宜しくお願い致します。



第三副会長

L. 山岸 隆久

この度、第三副会長を務めさせていただきます山岸です。

私がライオンズクラブに入会し、はじめて委員長を務めさせていただいたのが会員厚生でした。また、この委員会の活動に携わらせていただくこととなり、とても懐かしく思います。

今年度の活動は、佐藤会長の方針の中にある「会員相互のコミュニケーションの活性化を図り、楽しい例会作り・委員会では、全員参加で取り組んで頂きたい」と、あります。それを踏まえ、毎年委員は準備後、当日も進行や催し物のため、メンバーと一緒になかなか楽しむことができていなかったように思いますので、今年度は委員も含む全員がゆっくり楽しめるような企画を話し合い、実行できるようにしていけたらと思っています。メンバーの皆様のご協力とご理解をいただき、どうぞよろしくお願いいたします。



幹事

L. 松山 八重子

今年度幹事をさせて頂くことになりました松山です。幹事としての責務は重大ですが、「奉仕」と言う柱に沿って微力ではありますが、会長方針のもと頑張りたいと思っております。幹事を引き受けた時は私に出来るか不安もありましたが、先輩ライオンの皆様に励まされ、ここでこの役を引き受けることによって、また一つ自分が成長出来ると信じ、前向きにこの役目を全うしたいと思っております。

ただの主婦で社会にも疎かった私が、こうして素晴らしいメンバーに出会い、仲間となって同じ奉仕活動を柱に色々なことを共有し、その時間が持てたことを大変嬉しく思っております。仲間を大切に、一人一人大事にお付

役員就任挨拶

き合い出来たらと思っています。私の幹事としての方針は、謙虚で笑顔で楽しいクラブ活動に黒子として徹し、会長に花を持たせ、会長を支えていきたいと思っています。とは言え未熟な私です。何か間違いがあった時は叱咤激励して下さい。素直な気持ちを忘れず対応したいと思っています。心で幹事の仕事をしたい。どうか皆様のご協力をお願い申し上げます。



会計

L. 下田 もも子

本年度佐藤一夫会長のもと「会計」を仰せつかりました。会長の基本方針のもと、魅力ある例会づくりと友愛の精神を多くの会員の皆様と共有して参りたいと存じます。まだまだ分からない事や勉強しなくてはならないことが沢山あるにもかかわらず、初めての三役に就任という事になりますが、諸先輩や仲間たちのご指導を仰ぎ、精一杯会計という重責を果たして参りたいと思います。

どうぞご指導ご鞭撻、ご協力、宜しくお願いいたします。



ライオンテーム

L. 小池 悠

今年度ライオンテームを務めさせて頂くことになりました小池悠です。

兄と弟をもつ私は、どちらかというと自由奔放に、自分勝手に生きてきました。決められたルールよりも効率化を求め、不要なものは排除してきました。つまりは面倒くさがりなのです。

また長野ライオンズでは最年少、本業である土地家屋調査士でも若手の位置にいるため、諸先輩方に甘えてきました。割と言いたい事も言

いますし、空気を読まずに発言する事も少なくありません。いわゆる生意気な小僧です。

長野ライオンズクラブに入会して得たものの中で、一番大切だと思うことは『言葉』の選び方です。『言葉』は人に元気や勇気を与え、モチベーションを上げる意識や考え方を伝える重要な手段です。

当たり前のことですが、この度ライオンテームという大役を仰せつかったことを機に、このことをより意識して行動しようと思っています。

これから1年間ライオンテームとして皆様の前で『言葉』を話し、例会を進行していく中で、効率だけではなく伝統やルールも大切に、皆様が気持ちよく例会が行えるよう努力してまいります。自由奔放に生きてきた私ですが『何事もやってみないとわからない、やるだけやれば得られるものがそこにある』を原動力に、仕事も役目も務めてきました。

まだまだ若輩者の私には至らないことも多々あるかとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



テールツイスター

L. 北澤 哲也

この度、伝統ある長野ライオンズクラブのテールツイスターを拝命致し、より一層の責任の重圧を感じております。

「身（お金）より実（行動）」に共感してライオンズクラブの入会を選んだ私がこの役職を頂くなんて何とも皮肉なものです。（苦笑）

せっかく頂きました役職（権利）ですので、これまでの決まり事のようなドネーションだけでなく、お仕事や諸事情で事業に出られなかった会員の皆さんが「今回の例会ではファイン分、載せて出すか」と思っていただけのような会員相互の親睦を図り、その場の空気を湧き立たせるファイン制度を活用してクラブの調和・親交・活気を促進できるよう尽力していきたいと思っています。

是非とも1年間宜しくお願い致します。

現・次期役員引継ぎ懇親会

2018.6.21
ホテル国際21



6月21日、ホテル国際21において次期会員厚生委員会主導により、現・次期役員引継ぎ懇親会が催されました。厚生委員長のL. 藤澤聡が司会進行役を務め、第三副会長のL. 杉村智代による開演の言葉があり、原田会長によるウィ・サーブの発声高らかに、引継ぎ懇親会が盛大に始まりました。

八役のテーブルには、1年間役を全うされたことを労うようにお酌をされる方々が集まりました。八役の方々のお酒の味は格別だったのではないのでしょうか。

また各テーブルでも和気あいあいと、1年間お疲れ様でしたと、楽しく会話とお酒と料理に楽しまれていました。

幅広い関係性の中で、ライオンズクラブの話から、仕事の話や、交友関係の話や人間性の話など、幅広い年齢層の中で様々な意見が飛び交う中、楽しくお酒が呑めることあり

がたさ、長野ライオンズクラブの諸先輩方のありがたさを改めて実感する引継ぎ懇親会でした。

そして宴もたけなわになったところでテールツイスターのL. 市川さとみが登場し、今期最後のドネーション集めを全うされました。

最後は原田会長、会計L. 内田雅己の音頭でライオンズローアを行い、第二副会長L. 山際悟郎による挨拶をもって閉宴となりました。

原田会長はじめ、第一副会長L. 佐藤一夫、第二副会長L. 山際悟郎、第三副会長L. 杉村智代、幹事L. 若林恒雄、会計L. 内田雅己、テールツイスターL. 市川さとみ、ライオンテーマーL. 小林正直の八役の皆様、改めまして一年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

(L. 小池 悠)

時間をつくる事

L. 植木 鉄也

入会当初、先輩ライオンから頂いた『経営者は社員を育て時間をつくる事が必然』との教えは今でも忘れられません。プレイヤーとの兼務の状況は変わりませんが少しずつ前進させています。時間を作れない理由を他に求め言い訳が上手になり、『立場だから許される』との勘違、自分の甘さから周りに迷惑をかけてしまう事や、余裕がない時に限り安請負をします。2月に少し寝込む事がありました。留守中スムーズに進めている社員の姿に、もっと手放していかなければと感じています。時間をつくる事、余裕をもつ事は結局自分次第である事を改めて実感させられているこの頃です。今年一年、時間をつくる事に努めます。ご指導宜しくお祈りいたします。

49歳になりました

L. 宮澤 度

幼いころ、私が思い描いていた40代後半？知性と教養が滲み出るような渋い大人の男性像。似ても似つかない現在の自分です。

男として社会人として、これからも努めを果たしていかなければなりません。幸いにも周りの友人、諸先輩方に恵まれ日々刺激を受けながら楽しく生活を送ることができています。そんな中で自分の理想像に少しでも近づけるよう努力していきたいものです。最近では老眼が進み好きな読書も一苦勞ですが、夜酒を飲みながら小説を読んだり、大好きな革靴磨きをしながら心落ち着かせております。

皆さまには今年1年またお世話になりますが引き続きご指導、ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

誕生日を迎えて

L. 原田 純一

7月20日で59歳になります。7月20日は、アポロ11号月面着陸の日であり、海の記念日でもありました(1996年から7年間「海の日」として祝日)。割と好きな誕生日でしたが、日々に欠けゆく夜半の月のように残り少ない人生を思う今日この頃です。

趣味は何事も「広く・深く」が災いし、旅行に園芸(葡萄、野菜、バラ、クリスマスローズ等)、古代史の研究、平安文学、天文科学に飲酒?(最近ではワイナリー巡りも)など收拾がつきません。その上、例えば古代史から地名や姓名の研究に派生したり、平安文学から薫香に発展(脱線?)したりします。

定年退職まで2年、その後の余生をどう生きるか。私の場合、いかに趣味を整理するかです。天国の門は狭き門であり、荷物を背負っていると通れません。身軽になれるよう努力したいものです。

誕生日を迎えて

L. 高木 真

7月23日に46歳となります。本当に最近、時間が経つのが早く感じます。若いころ先輩たちに言われましたが本当にそう感じるようになるのですね。つい最近の事かと思つたらもう10年以上前の出来事だったり、1週間前なんてものはいくつ数時間前に感じます。昨日何食べたか?と思ひ出せないこともあります。…これは違う意味ですね。すでに脳だけが急激に老化しているだけです。いずれにせよ時間がものすごい速さで過ぎていきます。実際の世の動きもものすごいスピードで動いています。脳の老化は極力スピードを落として、時代の変化にはスピードを上げて追いついていきたいと思ひます。

今年も取り留めのない話ですみませんでした。

— 6月定例理事会 報告 —

2018.6.14 於：ホテルメルバルク長野

議事

1. 長野ライオンズクラブ内規変更の件
2. 特別会員の件
3. 優待会員の件
4. 退会者の件

5. 第15回長野LCチャリティゴルフ大会決算報告の件
6. 事務局雇用延長および給与の件


— 以上承認 —

(文責 L. 矢島 利昭)

会長挨拶は、6月3日に三重県津市産業スポーツセンターサオリーナで行われた、第64回334複合地区年次大会の報告と、市立長野中学2年生70名を対象とした職場体験前の勉強会に、クラブから9名他から2名の参加で、講義は大変好評であったと報告された。そして、長野LCは、チャータメンバー33人で発足、著名な方が多かったがその中の一人、L. 林純勝僧侶が地域の小中学生に無料で英語塾主催して教えていたなど、スローガンである「55年の歴史に学び」、過去の行事や人材を振り返って勉強することで、長野LCの歴史の重みを改めて認識してほしいと締めくくった。

つづいて、334-E地区2018～2019年度地区役員の発表があり、飯田LCのL. 菅沼哲夫がガバナーエレクトとなったことを報告、誕生日祝いで2名の該当者がいたが、L. 小林信三郎1名の出席でした。

委員会報告では、5月26日に行われた河川清掃の御礼と、6月30日(土)の最終アクト、雲上殿庭園清掃のお願いを、事業委員長L. 山際悟郎から報告された。

ゲストスピーチでは、「タンザニアのこどもたちに光を」とフィデアのタンザニア孤児支援活動NPO法人ムワンガサ・ファンデーション主催の小林フィデアご夫妻が参加、フィデアさんが「ジャンボ」とスワヒリ語で挨拶、今日誕生日を迎えたL. 小林信三郎に「誕生日おめでとうございます」と、言葉を述べスピーチに入った。タンザニアについて、日本に来ての苦労話、これからの活動などパワーポイントを使って話された。

アフリカタンザニアという遠い所と思っていたが、身近に感じ手を差しのべなければと感じました。

例会出席率68名中36名(出席率53%)

(広報委員 L. 竹内 正)

これからの予定

7/5(木) 12:30～	第1例会	於：ホテル国際21
7/12(木) 12:30～	定例理事会	於：メルパルク長野
7/19(木) 12:30～	第2例会	於：ホテル国際21
7/23(月) 16:00～	広報委員会	於：事務局
7/26(木) 18:00～	メーク・アップ	於：ホテル国際21ロビー

本会は「私が会長になって24回目の最終例会となるに当たり皆様にお詫び申し上げたい。現幹事のL. 若林の退会については私を始め、数多くの人が精一杯の努力で引き止めをしましたが、本人の意志が固く、これ以上は無理と判断をし、断腸の思いで退会を認めざるをえませんでした。

しかし、一年間幹事として本当に頑張っていたありがたい気持ちでいっぱいです。この上は気持ち良く送り出してあげたい。そして、数年後またその気になった時には、長野ライオンズクラブのドアはオープンしており、皆が両手を広げて待っています。」と原田会長の挨拶で始まりました。

続いて次期幹事のL. 松山より、次年度の年間月別例会等予定表の発表があり、新体制も準備万端の様子を伺わせました。

委員会報告では、チャリティーゴルフの無事終了と、予算以上の実績を上げることが出来た御礼と決算報告を山際第二副会長が発表。続いて、2018年度の誕生日祝いの品物が「みすずコーポレーションの詰合せ」に決定したと、藤澤次期会員厚生委員長が発表。また、宮坂環境保全・社会保険委員長から、善光寺雲上殿庭園の清掃が6月30日(土)に行くことを確認しました。本年度最後の例会出席率は、計画出席委員長のL. 宮澤より発表がありました。

続いて、優待会員、不在会員の発表があり、退会者については、前述の若林恒雄幹事と市川さとみテールツイスターも発表されました。幹事報告の後、現三役より次期三役への引継としてバッジの交換が行われ、現三役には記念品の贈呈が行われました。

そして、会長を始め八役が退任挨拶・本年を振り返っての感想や思いを述べられました。チームワークと協調性の良さを感じられた執行部でした。一年間本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

閉会のゴングの後には原田現会長から佐藤新会長へ木槌の引き渡しがあり、引継例会は終了しました。

例会出席率68名中41名(出席率60%)

(広報委員 L. 清水 威彦)

長野 L I O N No.608

長野市南県町685-2 長野県食糧会館4F
長野ライオンズクラブ発行
TEL (026) 235-3883
FAX (026) 234-4397
会報編集者 L. 星野直信